

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防犯に関する地域との連携体制がまだ構築されていないので、夜間の避難や地震時の対応等地域の協力が得られるような体制作りが必要。また、スタッフの意識を高く持ち、消防訓練時の訓練の質を上げていく事も必要と考えている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の消防訓練にスタッフが参加し、地域間の連携を考える。 消防訓練の質を上げ、スタッフが全員昼・夜の避難を行える様にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会と連携し、地域の消防訓練にスタッフが参加する事で地域間の連携を考える。。また、消防訓練の質を上げていける様、消防署と連携し、消防訓練の優良事例を活かす。 	12ヶ月
2	36	「声の大きさ」「ドアの開けっ放し」「スピーチロック」や申し送り等の際の排泄に関する内容への配慮等が各スタッフ共満足に実施されている訳ではない。各スタッフが日常の援助の中で常に意識して行っていける様にしていかななくてはならない。	<ul style="list-style-type: none"> その場その場で良い方向で指摘し合える環境の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者様に対し、万が一左記の様な配慮に欠ける事が生じた際は、まずは管理者・計画作成担当者・フロアリーダーが率先し、その場その場で指摘し合う。その際、当該スタッフのモチベーションが低下しない様注意する。また、人権・プライバシーに関する研修は今後も継続し実施していく。 	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。